

営 農 情 報

令和5年4月18日

第2号

水稻育苗初期管理について

○播種後の育苗管理について

- ・出芽までの適温は籾の位置で25℃～32℃ですので、必ず籾の位置で温度を計測し、こまめな温度管理を行いましょ。
- ・出芽期の低温・日照不足が続く場合はシルバーポリトウを用いて温度を確保しましょ。

○シルバーポリトウの使い方と注意点

- ・基本的には出芽が7割揃うまではシルバーポリトウをベタ掛けしますが、7日間以上ベタ掛けする場合には日中の日照のある時に一度はぐり、1時間程度空気の供給と地温上昇に努め、気温が下がる前に再度シルバーポリトウを掛けましょ。
- ・気温が極端に高い日にはシルバーポリトウをはぐり、灌水して温度を適温に保ちましょ。

※根の致死温度・・・43℃で20～30分、49℃で1分、-1℃で3時間

○発芽揃い後の育苗管理について

- ・灌水時は下まで水が抜けるように時間をかけてしっかり行いましょ。
- ・発芽揃い後、ハウス内の温度は20～25℃とし、25℃を超えた場合は換気を行いましょ。
- ・夜間から早朝にかけて低温や霜が降りる危険性がある場合には、被覆資材を使用しましょ。
- ・根の生育促進に努め、苗床の過湿は避けましょ。

※ハウス内に乾燥状態を確認する箱を決めておくとう管理が楽になります。

○防除について

薬 剤 名	区 分	使用時期	投下水量	処理濃度	対象病虫害
タチガレン液剤	殺菌剤	播種直後及び発芽後	中苗 500ml/箱 成苗 300ml/箱	500～1000倍	苗立枯病 (フザリウム菌・ピシウム菌)
タチガレエースM液剤		播種時又は発芽後			苗立枯病 (リゾーフス菌)
ダコニール1000		播種時～緑化後 但し播種後14日後		200倍	いもち病
スタウト顆粒水和剤	殺虫剤	播種時覆土前～ 移植当日		1000倍	・イネミズゾウムシ ・イネドロオイムシ ・フタオビコヤガ
バズ顆粒水和剤					

※バズ顆粒水和剤・スタウト顆粒水和剤に関しましては液肥と同時に施用すると薬害があります。液肥施用から1日間は間隔をあけて施用しましょ。

J A み ね の ぶ 営 農 推 進 協 議 会

TEL 0126-67-2334

FAX 0126-67-2803